

PSS REPORT 2016



東証マザーズ上場

証券コード：7707

第31期 事業報告書

平成27年7月1日 ▶ 平成28年6月30日

 Precision System Science Co., Ltd.
プレジジョン・システム・サイエンス株式会社

▶ トップメッセージ

TOP MESSAGE

株主の皆様におかれましては、平素より当社の事業につきまして格別のご支援とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。PSSの事業進捗についてご報告させていただきます。



プレジジョン・システム・サイエンス株式会社
代表取締役社長

日島 秀二

■ 事業の成長による社会貢献とは？

バイオ（遺伝子・タンパク質等）診断システムの提供を通じて

事業目的は、使い勝手の良い（ユーザーフレンドリーな）バイオ診断システムの提供を通じて、その診断情報を有効活用することにより、世の中の多くの人々に快適な生活を送って頂くことです。そのため事業領域における強みとして「自動化システム技術」を活かすこと、すなわち「バイオテクノロジー」と日本企業の得意とする「ものづくり」を融合して、事業の成長による社会貢献をはたします。

PSSの技術コンセプトは、「シンプル、コンパクト、メンテナンスフリー」の自動化システムです。このコンセプトが、社会に受け入れられたDNA自動抽出装置は、累計2万台以上を世界的な企業を通じてOEM供給しました。現在では研究分野だけではなく、感染症やDNA鑑定等の臨床の現場でも利用されるようになりました。

今後PSSが事業の成長により社会貢献できるのは、この実績と経験を活かした応用展開です。すなわちDNA自動抽出技術（Magtration®）を発展させたバイオ診断システム（全自動化装置と一体化した検査試薬）の製品提供を通じて、世界のより多くの人々に、バイオ診断情報の有効活用による社会貢献に関わることだと考えています。

■ 業績について

第31期（H28/6）連結業績について ⇒参照 連結財務ハイライト

第31期連結業績は、対前期比では減収減益となりました。これは、第30期のような増収要因（特需、開発売上、手数料収入）がなく、販管費が対前期比並みに推移したことによるものです。また、今後の販売見通しを含めた事業計画を見直した結果として、固定資産に係る減損損失を特別損失に計上しました。一方では、エリテック社に供給開始した全自動遺伝子診断装置「InGenius（PSSではgeneLEADXII）」に関しては、順調な立ち上がりとなっており、第31期を通して、当初計画を上回る結果となりました。geneLEADシリーズは、十分に市場に受け入れられる製品であるとの認識を強めており、当社の将来を支える主力製品と位置づけ、今後も事業展開に注力していく所存です。

■ 中期事業計画の進捗について

⇒参照 トピックス

PSSは、遺伝子診断市場のトレンドを捉え事業フィールドを研究開発分野から臨床診断分野へ移行し、製品構成は装置中心から試薬・消耗品ビジネスへの転換を掲げ、3カ年の中期事業計画を策定しており、その事業進捗に鑑みて、毎年計画の見直しを実施しています。

今回の見直しにおいては、事業の早期黒字転換を掲げており、その施策として、①自社製品のラインアップを充実して販売強化を行い、アジア・米国・欧州の3極におけるPSS直販体制、及び当該地域における販売代理店網構築②製品コストダウンを行うために、生産ラインの増強と省力化を推進し、将来の増産に備えるとともに、外注先の工場と協力し、当社と一体となって製品コストダウンに注力を挙げています。

これらの施策を厳格に進めることにより、株主・投資家の皆様の期待に応える成果を着実にみせられるよう事業を推進してまいります。

引き続きご支援のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

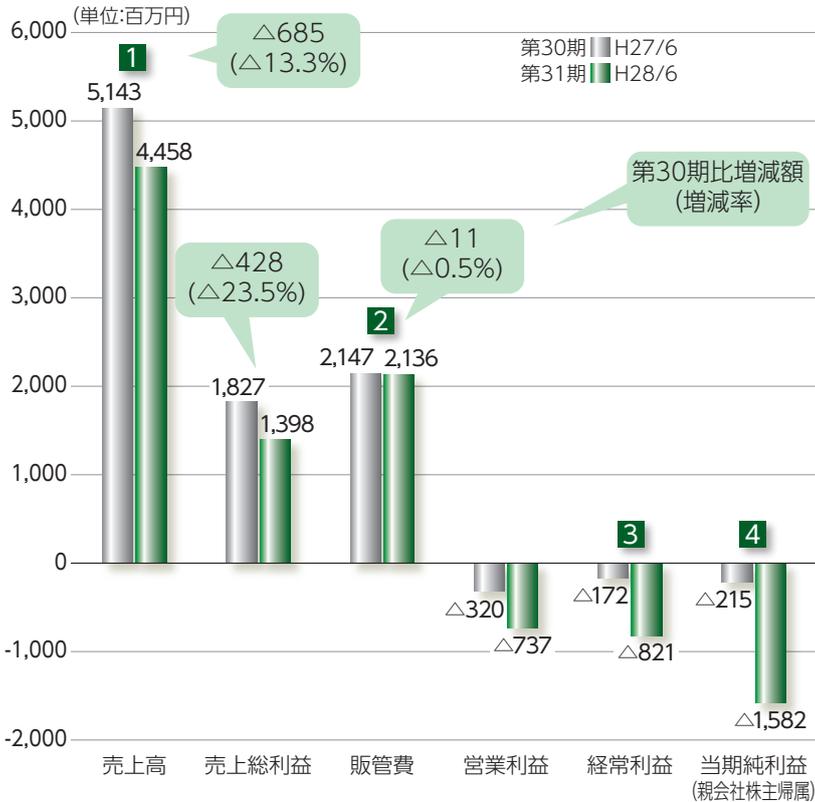
PSSの提案する診断システム

- 全自動遺伝子診断装置
geneLEADXII



第31期(H28/6)連結業績について

- 連結業績は、前期比減収減益となりました。
- 事業計画の見直しにより、固定資産に係る減損損失を特別損失に計上しました。

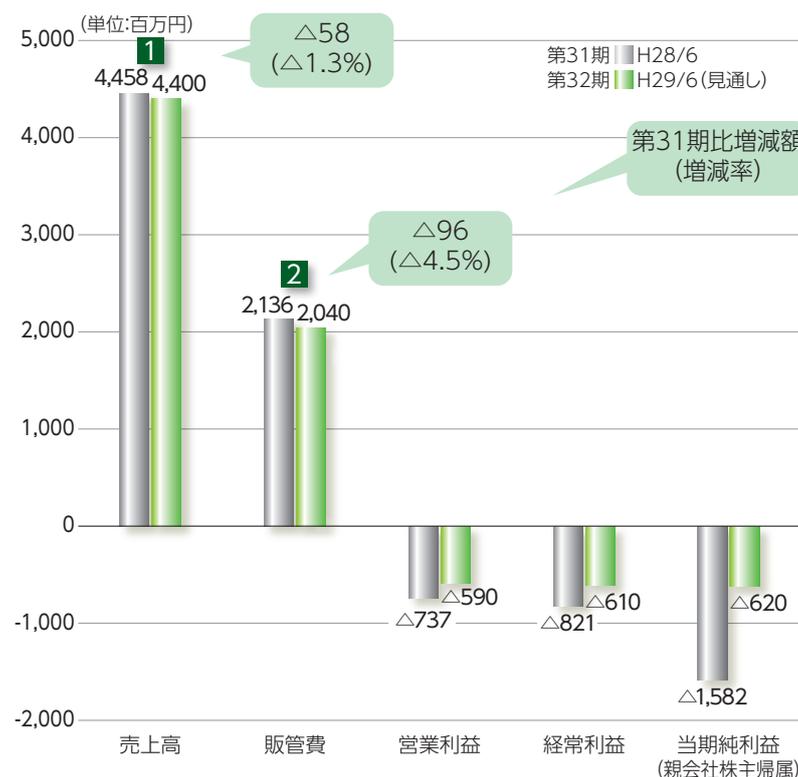


◆第30期(H27/6)業績比

- 1 ▶売上高の減収
前年同期のエボラ出血熱検査特需や大きな開発売上、更にはOEM契約締結に伴う手数料収入のような増収要因がなかったこともあり、前期比では減収となりました。
- 2 ▶販管費は前期比並み
積極的な開発費支出777百万円(前期比2.2%減)を実施したこと等により、ほぼ前期比並みとなりました。
- 3 ▶為替差損の計上
円高による影響により為替差損90百万円が発生しました。
- 4 ▶特別損失(減損損失)の計上
当社グループの取引先のうち、大手OEM先の一部において、売上拡大に大きく寄与するものとして期待しておりました案件について、その販売見通しについて大幅な延期となり、かつ現時点においては再開の時期が不透明となったため、当社グループが保有する固定資産(土地、建物、生産設備など)について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失908百万円を特別損失に計上しました。

第32期(H29/6)連結業績見通しについて

- 引き続き赤字となる見通しではありますが、当社グループといたしましては、リストラや開発費の削減による黒字化を目指すのではなく、geneLEADシリーズを中心とした遺伝子診断分野への事業展開を図ることで、業容拡大による2~3年後の黒字化を目指します。
- なお、為替の見通しは、1ドル=100円、1ユーロ=110円にて算定しております。



◆第31期(H28/6)業績比

- 1 ▶売上高対前期比ほぼ横ばい
一部のOEM先の販売において減少を見込んだ一方、エリテック社向けの全自動遺伝子診断装置の市場投入が進んでいること、それに搭載するDNA抽出試薬とあわせ増収を見込むとともに、近年注力してまいりました自社販売拡大による増収を見込んでいます。
- 2 ▶販管費対前期比削減
引き続き積極的な研究開発投資795百万円(前期比2.3%増)を行うものの、第31期(平成28年6月期)の減損損失の計上に伴う減価償却負担の低減効果やその他の経費削減努力を見込んでいます。

更に詳しい情報は？

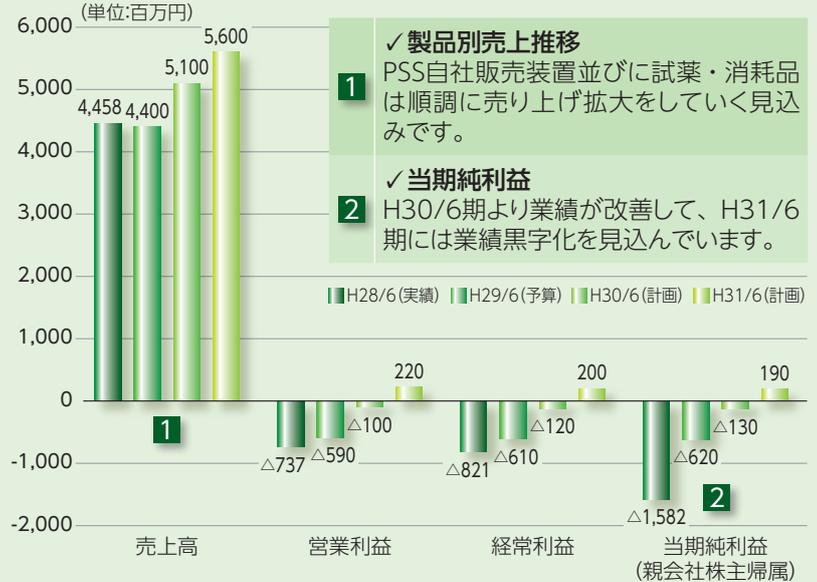
PSSWebサイトより
投資に関する説明会開催状況について
(平成28年8月30日開催)

▶ PSS決算説明会資料

■ 中期事業計画（平成29年6月期～平成31年6月期）について

PSSは、3か年の中期事業計画を作成しています。現在まで、会社の運営方針やビジネスの方向性に変更はありませんが、新製品の開発状況や足元の事業進捗に鑑みて、毎年計画の見直しを実施しています。今回の見直しについては、事業の黒字転換をはかるために以下2点を踏まえて中期計画の見直しを実施致しました。

1. 自社販売強化：DNA自動抽出装置であるmagLEADシリーズや全自動遺伝子診断装置であるgeneLEADシリーズを中心として、DNA抽出試薬や増幅・診断試薬も提供することで、自社製品のラインアップを充実し、アジア・米国・欧州の3極におけるPSS直販体制、及び当該地域における約30ヶ国に及び販売代理店の契約締結を視野に入れた販売網構築を目指してまいります。
2. 製品コストダウン：製造工場であるエヌピーエス(株)や大館試薬センターにおいては、生産ラインの増強と省力化を推進し、将来の増産に備えるとともに、外注先の工場と協力し、当社と一体となって製品コストダウンに注力していく所存であります。



✓ 製品別売上推移

1 PSS自社販売装置並びに試薬・消耗品は順調に売り上げ拡大をしていく見込みです。

✓ 当期純利益

2 H30/6期より業績が改善して、H31/6期には業績黒字化を見込んでいます。

更に詳しい情報は？ PSSWebサイトより

● 中期事業計画策定のお知らせ（平成28年8月12日）

■ 事業の進捗について

自社製品販売について

「タイ販売代理店MP Med GroupとのPSS製品販売代理店契約締結及び共同プロモーション実施について」(平成28年6月8日)

タイ国内におけるPSS自社製品の販売に関して、MP Med Group Co., Ltd.とPSSは販売代理店契約を締結致しました。さらに、6月1日～6月3日、タイ王国のパッタヤーで開催されたタイ国内最大規模の医療関連学会「The 40th Annual Conference of Medical Technologists of Thailand (ACMTT)」にて、契約締結後初となる企業展示会でのPSS製品のプロモーションを行いました。



国家プロジェクト参画

「全自動デジタルELISA装置開発」内閣府革新的研究開発推進プログラム参画（平成28年7月21日）

このたび、内閣府革新的研究開発推進プログラムImPACTに参画し、「豊かで安全な社会と新しいバイオものづくりを実現する人工細胞リアクタ」プログラムにおける基盤技術開発テーマ「全自動デジタルELISA装置開発」を担当することになりました。

■ 子会社NPSの完全子会社化について

「子会社エヌピーエス株式会社の株式追加取得に関するお知らせ」(平成28年6月27日)

これまで、PSSは平成24年7月31日に安定的な生産管理体制の確立と製造コスト削減をはかるために、NPSの発行済み株式の51.0%となる81,600株を取得していました。

更なる品質管理を含めた生産管理体制強化と製造コスト削減を加速すべく、発行済み株式78,400株を取得価額202百万円での追加取得を行い、PSSの株式所有割合は100%となりました。



MagDEA Dx SV

PSSと一体となり、生産ラインの増強と省力化を推進し、将来の増産に備えるとともに、隣接する大館試薬センターと外注先の工場と協力し、製品コストダウンに注力していく所存です。

■ その他

CSR活動(平成28年5月14日～15日)

東京大学五月祭の科学実験体験型イベントに協賛をして、広告出稿をしました。

ラジオ番組出演のご案内(平成28年8月30日放送)

藤沢久美の社長Talk 「一家に一台、DNA解析機械」の未来をつくるダイジェスト版(無料) <http://www.shachotalk.jp/talk/20160830>

商号：プレジジョン・システム・サイエンス株式会社
 (英文社名)：Precision System Science Co., Ltd.
 設立年月日：1985年7月17日

役員：代表取締役社長 田島 秀二
 常務取締役 秋本 淳
 常務取締役 池田 秀雄
 取締役 古川 昭宏
 取締役 カール・ヒルカー
 取締役 上田 哲也
 取締役* 團野 達郎
 常勤監査役** 平山 伸之
 監査役** 荻原 大輔
 監査役** 山川 善之

(注) *社外取締役 **社外監査役
 カール・ヒルカー取締役は、平成28年9月27日付けをもって、任期満了となり、退任しました。

連結子会社：Precision System Science USA, Inc. (米国)
 Precision System Science Europe GmbH (ドイツ)
 ユニバーサル・バイオ・リサーチ(株) (千葉県松戸市)
 PSSキャピタル(株) (千葉県松戸市)
 バイオコンテンツ投資事業有限責任組合 (千葉県松戸市)
 ジェネティン(株) (千葉県松戸市)
 エヌピーエス(株) (秋田県大館市)

(注)1. バイオコンテンツ投資事業有限責任組合及びPSSキャピタル(株)は、当該ファンドの満期を迎えたため、それぞれ平成28年3月31日、平成28年7月14日付で解散しており、平成28年10月に会社清算を行う予定です。
 2. 平成28年6月30日を効力発生日として、完全子会社であるジェネティン(株)を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行いました。
 3. 平成28年6月30日を効力発生日として、子会社であるエヌピーエス(株)の株式を追加取得し、同社を完全子会社といたしました。

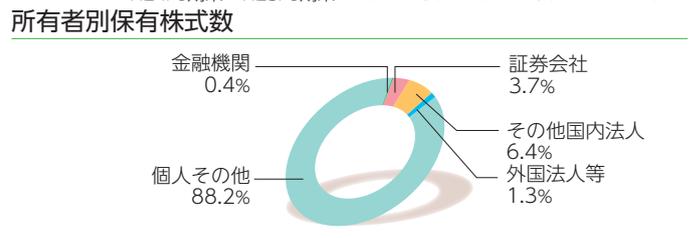
資本金：2,972百万円
 従業員数：197名
 (注) 従業員数は就業人員です。(派遣社員、パート等を含まない)

事業内容：バイオ診断システムメーカー
 遺伝子・タンパク質関連業界における研究施設(ラボ)の自動化や臨床診断分野向けの各種自動化機器の開発及び製造販売、並びにそれら機器に使用される研究用試薬や診断薬、プラスチック消耗品の製造販売等

株式の状況

STOCK INFORMATION

発行可能株式総数	68,480,000株	
発行済株式の総数	20,756,900株	
株主数	10,842名	
大株主 (H28/6末現在)		
株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
田島 秀二	4,549,200	21.9
(有)ユニテック	1,200,000	5.8
高橋 計行	283,200	1.4
高山 茂	195,200	0.9
(株)SBI証券	143,600	0.7
いちよし証券(株)	132,300	0.6
プレジジョン・システム・サイエンス従業員持株会	121,900	0.6
BNYM SA/INV FOR BNYM FOR BNYM GCOM CLIENT ACCTS MLML FE	91,801	0.4
秋本 淳	90,400	0.4
MSIP CLIENT SECURITIES	89,900	0.4



株主メモ

SHAREHOLDER INFORMATION

事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで

剰余金の配当基準日 期末配当金 毎年 6月30日
 中間配当金 毎年12月31日

定時株主総会 毎年9月

単元株式数 100株

株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

公告方法 電子公告 (<http://www.pss.co.jp>)
 ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載します。

お取扱窓口 証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。
 証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記のお取扱店にてお取扱いいたします。
 なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問合せください。

お問合せ先 〒168-8507
 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く
 9:00~17:00)

お取扱店 みずほ証券
 本店、全国各支店および営業所
 プラネットフース (みずほ銀行内の店舗) でもお取扱いいたします。
 みずほ信託銀行
 本店および全国各支店
 ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。

未払配当金のお支払い みずほ信託銀行 本店および全国各支店
 みずほ銀行 本店および全国各支店
 (みずほ証券では取次のみとなります。)

PSS IRメール配信のご案内

PSSでは、個人株主・投資家の皆様とのコミュニケーションをはかるため、Eメール配信を行っております。プレスリリースや会社説明会のご案内等を、オンタイムでお知らせしております。
 PSSWebサイト>Q&Aお問い合わせ>PSSIRクラブからメールアドレス登録ができますので、是非ご登録ください。

(将来の見通しに関する注意事項)
 本事業報告書では、当社グループの将来についての計画・戦略・業績に関する予測と見通しが含まれています。実際の業績は、述べられている見通しと異なる可能性があることをご承知おきください。

